

NEWS RELEASE

No. 25-9

2025 年 8 月 22 日

(公財)損害保険事業総合研究所

損保総研レポート第 152 号を発刊し、以下のレポートを掲載しました。

- ◆ 欧州におけるキャプティブ設立促進の動きーフランス・イギリスの動向を中心にー
- ◆ リチウムイオン電池のリスクと重大事故、損害保険業界の対応ー海外の事例を中心にー

公益財団法人 損害保険事業総合研究所（理事長 後藤 浩之）では、研究員による調査研究の発表の場として機関誌「損保総研レポート」を定期刊行しています。

今号（第 152 号）では、以下のレポートを掲載するとともに、海外の金融・保険市場の動向を紹介しています。

<レポート>

◆欧州におけるキャプティブ設立促進の動きーフランス・イギリスの動向を中心にー

主席研究員 奥山 絹代

企業が自社または自社グループのリスク引受のために設立する（再）保険会社であるキャプティブは、近年の保険市場のハード化などを背景に、その利用が拡大しています。従来、バミューダ、ケイマン、ガーンジー島といったオフショア地域が、規制やインフラの整備状況から主要な設立地（ドミサイル）とされてきましたが、近年は欧州において、自国内にキャプティブを設立する動きが広がっています。フランスでは、2023 年に再保険キャプティブを対象としたレジリエンス引当金制度が導入され、イギリスでも、2025 年 7 月に自国内キャプティブに関する新たな制度の導入方針が公表されました。

本稿では、キャプティブの概要や、それに対する保険監督の考え方などを確認したうえで、欧州における自国内キャプティブ設立の促進に向けた動きを、フランスおよびイギリスの動向を中心に紹介しています。

◆リチウムイオン電池のリスクと重大事故、損害保険業界の対応ー海外の事例を中心にー

主席研究員 藤居 学

リチウムイオン電池（LIB）は 1990 年代以降急速に普及し、スマートフォンやノートパソコンをはじめとする携帯電子機器、EV や電動キックボードなどの電動モビリティ、さらには事業用の定置用蓄電システムなど、幅広い用途に利用されています。一方で、LIB が原因の火災や爆発などの事故が数多く報告されるなど、リスクの顕在化・増大も懸念されています。LIB には、悪条件が重なることで「熱暴走」と呼ばれ

る現象が生じるほか、通常の消火方法では火災を鎮火しにくいといった特有のリスクがあり、リスク管理の面からも高度なノウハウが求められます。

本稿では、LIB 技術の概要や歴史、製造から廃棄までのライフサイクルの各段階におけるリスクを整理したうえで、これまでに発生した LIB に関連する重大事故を海外の事例を中心に収集、分析しました。また、この新しいリスクに対して各国の損害保険会社がどのように対応しているのかについてもあわせて紹介しています。

<その他>

◆ 金融・保険市場におけるトピックス

- 欧州・市場動向：「EIOPA が 2025 年上期金融安定性報告書を公表」
- イギリス・米国・市場動向：「AI 導入のため解雇された人の所得を補償するパラメトリック保険を開発」
- 米国・規制動向：「自動車保険差別禁止法案の下院への再提出」
- 米国・規制動向：「ホワイトハウスが無人航空機システムに関する 2 つの大統領令を発令」
- インド・規制動向：「保険会社への直接投資 100%に引上げなどを内容とする保険法改正案の国会提出へ」
- オーストラリア・規制動向：「監督当局が保険会社の保険金支払業務のさらなる改善を要請」

損保総研レポートは、当研究所ウェブサイトより、PDF 形式で無償にて閲覧・ダウンロードいただけます。(<https://www.sonposoken.or.jp/reports/>)

本件に関するお問い合わせ先

〒101-8335 千代田区神田淡路町 2 - 9
公益財団法人 損害保険事業総合研究所
研究部

(e メール : kenkyubu3@sonposoken.or.jp)

この資料は、保険関係業界紙各社へ同時に配付しております。

損保総研レポート第 152 号 目次

○欧州におけるキャプティブ設立促進の動き

ーフランス・イギリスの動向を中心にー

執筆者 主席研究員 奥山 絹代

《目次》

1. はじめに
2. キャプティブの概要
3. キャプティブへの保険監督
4. フランスにおける再保険キャプティブ設立促進の動き
5. イギリスにおけるキャプティブ制度検討の動き
6. おわりに

○リチウムイオン電池のリスクと重大事故、損害保険業界の対応

ー海外の事例を中心にー

執筆者 主席研究員 藤居 学

《目次》

1. はじめに
2. リチウムイオン電池の概要
3. リチウムイオン電池のライフサイクルにおけるリスクと事故事例
4. リチウムイオン電池リスクに対する損害保険業界の対応事例
5. おわりに

以 上